

2026 **1**

HOTORI-ZA MONTHLY CINEMA GUIDE



Ryuichi Sakamoto: Diaries © "Ryuichi Sakamoto: Diaries" Film Partners

HOTORI-ZA
CINEMA & LIVE

2026 マンスリーシネマガイド

1

※9:30～オープン ※開場は開映10分前です
★…イベント □…サービスデー ▢…ライブホール上映

料 金	一般……………1,900円	会 員……………1,200円
	シニア……………1,300円	ペア50割……………1,200円※1
	学生・U20……………1,000円	障がい者……………1,000円※2
	小中高生……………500円	月曜サービスデー……………1,300円

※1. どちらかが50歳以上であり2人連れの場合
※2. 障がい者手帳ご提示ください(付き添いの方1名様まで同一料金)
※作品により特別料金設定になる場合もございます
※未就学児の方は無料です
Wマークの作品は、曜日に関係なくWポイント

12/27土	28日	29月	30火	31水	1/1木	2金	3土	4日	5月	6火	7水	8木	9金	10土	11日	12月	13火	14水	15木	16金
野田真吉 A 10:00-11:14	野田真吉 C 10:00-11:36	休館日							チャップリン 10:00-11:39						見はらし世代 10:00-12:00					
野田真吉 B 11:35-12:55	野田真吉 D 11:55-14:09								Ryuichi Sakamoto: Diaries 12:00-13:41						ハウセンカ 12:20-13:55			水の中で 12:20-13:26		
レオ 13:15-16:01	レオ 14:30★ -17:16								アニキ・ボボ 14:00-15:17	オندان ソンラ 14:00★-16:04	オندان ソンラ 14:00★-16:14	アニキ・ボボ 14:00-15:17	水の中で 14:15-15:21	RS: Diaries 14:15-15:56	黄金狂時代 14:15-15:48	Ryuichi Sakamoto: Diaries 13:45-15:26				
	マサラ上映								オندان ソンラ 15:40★-18:14	アニキ・ボボ 16:35-17:52		オندان ソンラ 15:35-17:09	チャップリン 15:40-17:19	水の中で 16:15-17:21	RS: Diaries 16:10-17:51	街の灯 15:45-17:16	ライムライト 15:45-18:08	ニューヨーク 15:45-17:35	サーカス 15:45-17:02	
														ハウセンカ 18:30-20:05	RS: Diaries 17:40-19:21	ハウセンカ 17:40-19:15	水の中で 18:10-19:16	ハウセンカ 18:30-20:05		

17土	18日	19月	20火	21水	22木	23金	24土	25日	26月	27火	28水	29木	30金	31土	2/1日	
天使のたまご 10:00-11:16		ヒポクラテスの盲点 10:00-11:55				ブラハの春 不屈のラジオ報道 10:00-12:16		医の倫理と戦争 10:00-11:22				レッド・ツェッペリン 10:00-12:07				
レッツ・ゲット 11:35-13:39	ドイツ零年 11:35-12:54	レッツ・ゲット・ロスト 12:15-14:19		WHO? 12:15-14:00	レッツ・ゲット 12:15-14:19	WHO? 12:15-14:00	ストレイト・ストーリー 12:35-14:31		ブラハの春 不屈のラジオ報道 11:40-13:56				ストレイト 12:25-14:21		SDGsシネマ 12:40-14:14	
ヒポクラテス 14:05★-17:00	街の灯 13:15-14:46	新ドイツ零年 14:40-15:47	ドイツ零年 14:40-15:59	レッツ・ゲット 14:20-16:24	ドイツ零年 14:40-15:59	新ドイツ零年 14:20-15:27	医の倫理と戦争 14:50-16:12		ストレイト・ストーリー 14:15-16:11				WHO? 14:40-16:25		WHO? 14:35-16:20	
新ドイツ零年 17:20-18:27	ヒポクラテス 15:05-17:00	レヴュー 16:05-18:07		新ドイツ零年 16:45-17:52		レッツ・ゲット 15:45-17:49	天使のたまご 16:30-17:46		レッド・ツェッペリン:ピカミング 16:30-18:37				ブラハの春 16:45-19:01		ストレイト 16:40-18:36	
黄金狂時代 18:45-20:18	レッツ・ゲット 17:20-19:24	天使のたまご 18:30-19:46					レッド・ツェッペリン 18:05-20:12		天使のたまご 18:55-20:11							

『Ondan Sonra オンダン ソンラ』
舞台挨拶
1/4 (日) 15:40～上映後
登壇者：山本大策監督、彩雪、くまの音楽堂
1/5 (月) 14:00～上映後
登壇者：山本大策監督、菅乃、池田望々、吉江鈴那、平木英吏子
1/6 (火) 14:00～上映後
登壇者：山本大策監督

1/17 (土) 14:05～上映後
『ヒポクラテスの盲点』
舞台挨拶
登壇者：大西隼監督

1/4 - 9



© Produções António Lopes Ribeiro

アニキ・ボボ 4K レストア版

ポルトガルが世界に誇る巨匠マノエル・ド・オリヴェイラの長編監督デビュー作！ドウ河近郊に暮らす少年たち。カルリトスは内気な夢想家で、エドゥアルドは恐れ知らぬリーダー。二人は、グループで唯一の少女テレジーニャに恋をしている。ある日、カルリトスは人形を盗み、彼女にプレゼント。そのことをきっかけに少年たちの間に緊張が高まり、カルリトスはグループから仲間はずれにされる...

[1942/ポルトガル/1h12m] 監督・脚本：マノエル・ド・オリヴェイラ
出演：ナシメント・フェルナンデス、フェルナンダ・マトス、オラシオ・シルヴァ

1/4 - 9



© 日本トルコ友好映画プロジェクト

オندان ソンラ

トルコ・日外交樹立100周年記念 砺波市が舞台の「それから」の物語 富山市で生まれ育った未知子は、結婚を機に砺波市に移住。一度も働いたことのない未知子は、ふとしたことからスーパーでアルバイトを始める。仕事を通じて、社会に出ることの厳しさを楽しさを知り、自分とは違う生き方をする様々な人と出会い、同僚であるゆうと親しくなったことをきっかけに、トルコに魅せられていく。

[2024/日本/1h29m] 監督・脚本：山本大策 出演：山田真歩、彩音、稲垣成弥

舞台挨拶

1/4 (日) 15:40～上映後 登壇者：山本大策監督、彩音、くまの音楽堂
1/5 (月) 14:00～上映後 登壇者：山本大策監督、菅乃、池田望々耶、吉江怜那、平木英吏子
1/6 (火) 14:00～上映後 登壇者：山本大策監督

1/4 - 10



© The Caravan Trail, A.I.E, Kwanon Films Limited, and Submarine Sublime 2024 | Charlie Chaplin™ © Bubbles Incorporated SA

チャップリン

“放浪紳士”の原点はここにあった。チャップリン家初の公認ドキュメンタリー 今回初公開となるプライベートフィルム、独占インタビューなどの貴重な映像とともに、彼が映画で描き続けた“放浪紳士”のルーツを探るべく、息子マイケルが世界各地に赴き関係者やゆかりのある場所を訪ね歩く。壮絶な幼少期から家族と過ごしたかけがえのない時間まで、チャップリンの波乱に満ちた人生を辿る。

[2024/スペイン・ベネルクス・イギリス・フランス/1h34m] 監督・脚本：カルメン・チャップリン
出演：マイケル・チャップリン、ジェラルディン・チャップリン、ジョニー・デップ

1/4 - 16



© "Ryuichi Sakamoto: Diaries" Film Partners

Ryuichi Sakamoto: Diaries

「日記」に刻まれた、最後の3年半の軌跡。

2023年3月にこの世を去った、稀代の音楽家・坂本龍一。3年半にわたるガンの闘病生活とその中で行われた創作活動。目にしたもの、耳にした音を記録し続けた本人の「日記」を軸に、遺族の全面協力のもと提供された貴重なプライベート映像やポートレートをもとにつまね、その軌跡を辿ったドキュメンタリー。

[2025/日本/1h36m] 監督：大森健生 出演：坂本龍一 朗読：田中混

1/8 - 16



© 比元和津也 / カウセンカ製作委員会

ハウセンカ

男が人生を懸けた“大逆転”とは何か。

無期懲役囚の老人・阿久津が独房で死を迎えようとしていた時、声を掛けたのは人の言葉を操るハウセンカだった。「お前たちが来た日のこと、よく覚えてるぜ」。ヤクザの阿久津は過去を振り返る。那宗と生まれたばかりの健介と、ハウセンカが笑くアパートで幸せな日々を送っていたが...。ある1人の男の、人生と愛の物語。

[2025/日本/1h30m] 監督：木下麦 出演：小林薫、満島ひかり、ビエール瀧

1/10 - 16



©2025 シダロ / レボロエンタテインメント

見はらし世代

—2025年、未明 家族、東京、あたるしい景色

第78回カンヌ国際映画祭の監督週間日本人史上最年少で選出され、世界から注目を浴びた長編監督デビュー作。姉弟と、母の喪失を機に疎遠になった。ランドスケープデザイナーの父。渋谷の街を舞台に、関係を再び見つけ直そうとする彼らを描く本作は、普遍的な家族の風景から、都市の再開発がもたらす影響までを繊細に描き出す。

[2025/日本/1h55m] 監督・脚本：団塚唯我 出演：黒崎煌代、遠藤憲一、木竜麻生

1/10 - 16



©2023 Jeonwonsa Film Co. All Rights Reserved.

水の中で

監督デビュー30周年記念 「月刊ホン・サンス」第3弾

ベルリン映画祭で物議を醸した“全編ピンク映画”

俳優の青年ソンモは自主制作で映画を監督しようと決意し、大学で共に映画を学んだ同級生ふたりを伴い、リゾート地として知られる済州島へと向かう。思うようにシナリオは書けず、煩悶しながら海辺を散策していた時、ひとりの女性との出会いをきっかけに、語べき物語を見いだす。やがて海辺での撮影が静かに始まる。

[2023/韓国/1h1m] 監督・脚本：ホン・サンス 出演：シン・ソクホ、ハ・ソングク、キム・スンウン

1/12 - 19 《日替わり上映》

長編

黄金狂時代 サイレント・4K修復版
初上映から100周年を迎える、チャップリン初の長編作品。映画史上に輝く名場面で結ぶ、壮大な人間ドラマ！
[1925/アメリカ/1h28m/モノクロ]

ニューヨークの王様 デジタルリマスター版
痛烈なアメリカ文明風刺にして、チャップリン最後の主演作。息子のマイケルが悲劇のルー・少年を好演！
[1957/イギリス/1h45m/モノクロ]

短編

サーカス 4Kデジタルリマスター版
命がけのギャグはすべてスタント・特撮なし。これぞチャップリンのバントマイム芸の真骨頂！
[1928/アメリカ/1h12m/モノクロ]

犬の生活
チャップリン・レグー「犬の生活」「担へ鏡」「偽牧師」
1959年にチャップリン自身が過去の3本の短編をまとめ、音楽を作曲し、再編集した作品。
[1959/アメリカ/1h51m/モノクロ]

大独裁者

チャールズ・チャップリン 監督作セレクション

映画「チャップリン」に登場する作品をはじめ、名作品を厳選して上映！

会員サービス

入会金：500円
年会費：一般 2,000円
シニア (60歳以上) 1,500円

- 割引価格で観れる！
- ポイントが貯まる！
- マンスリーガイドが自宅に届く！

アクセス

富山駅／徒歩20分
市内電車／グランドプラザ前駅より徒歩3分・中町駅より徒歩2分
路線バス／総曲輪停留所より徒歩2分

入口

西別院側／1F地場もん屋総本店側→エレベーターで4Fへ！
※地場もん屋営業時間 (10:00～18:30) 外は、西別院側をご利用ください。

駐車場

鑑賞料1,000円以上のご利用で、グランドパーキング2時間無料サービス券をお渡いたします。チケット購入時に駐車券をご提示ください。

1/17 - 23 《日替わり上映》

特集 ロッセリーニ×ゴダール [2つのゼロ年]

『ドイツ零年』
第二次世界大戦後、ナチス・ドイツが崩壊し廃墟化したベルリンを舞台に、ひとりの少年エンドモンドを通して戦争がもたらす残酷さを描く。
[1948/イタリア/1h14m/モノクロ] 監督・脚本：ロベルト・ロッセリーニ

『新ドイツ零年』
ベルリンの壁崩壊後の1990年。東ドイツに30年間潜伏していた西ドイツ側の老スパイは、帰還を目指して東ドイツを大きく迂回する旅に出る。
[1991/フランス/1h2m] 監督・脚本：ジャン＝リュック・ゴダール

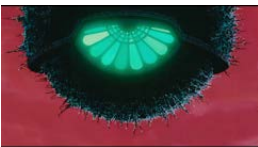
ナチス・ドイツが崩壊した1945年
東西ドイツが統合された1990年
2人の巨匠が描く、2つの「ゼロ年」

1/17 - 23



©1988-little bear films, inc. all rights reserved.

1/17 - 30



© 押井守・天野喜孝・徳間書店・徳間ジャパンコミュニケーションズ

1/17 - 23



©「ヒポクラテスの盲点」製作委員会

1/17 (±) 14:05～上映後

舞台挨拶 登壇者：大西隼監督

1/21・23・31・2/1



©WHOkarokukiminwomamoruundo

1/24 - 30



©2025 Singlo

1/24 - 31



© Dawson Films, Wandal production, Český rozhlas, Česká televize, RTVS - Rozhlas a televízia Slovenska, Barrandov Studio, innoxy

1/24 - 2/1



©2025 PARADISE PICTURES LTD.

1/24 - 2/1



© 1999 - STUDIOCANAL / PICTURE FACTORY - Tous Droits Réservés

WHO? 〈アンコール上映〉

コロナ禍の光と闇を描いた異色ドキュメンタリー

2024年、日本ではワクチンやWHOに対する数万人にも及ぶデモが複数行われていたが、マスコミはその異様な光景を報道しようとしなかった。デモの参加者たちにインタビューをするにつれ、なぜデモを起こすようになり、何に對して問題を提起しているのかが浮き彫りになっていった。これは真実か、あるいは陰謀か？

[2025/日本/1h40m] 監督：なるせゆうせい
出演：井上正康、林千静、原口一博、奥野卓志、深田萌絵

医の倫理と戦争

いま医療の現場で何が起きているのか

日本の医療現場が抱える様々な問題の根底には、第二次世界大戦における医療関係者の戦争犯罪への加担と、その隠蔽という事実がある。731部隊に属した医師達は、中国人への人体実験で得た「知見」を功績にかえ、日本医学界の中心に立ち詰めた。その真実を追いながら、医の倫理を掲げ声を上げる医療関係者たちがいる。

[2025/日本/1h17m] 監督：山本華介 出演：天羽道子、五十嵐逸美、池田恵美子

プラハの春 不屈のラジオ報道

もしこれを放送できたら、世界が変わるー

1968年、ソ連の支配下にあったチェコスロバキアで民主化運動が起こり、ついに「プラハの春」が訪れたと国民が思った矢先、ソ連軍が最大報道機関であったラジオ局を制圧した。報道局員たちは、命懸けて権力と戦車に立ち向かい、回線技術を駆使し、ラジオ局の外から真実の報道を続け、市民を励まし続けた感動の実話。

[2024/チェコスロバキア/2h11m/PG-12]
監督・脚本：イジー・マードル 出演：ヴォイチェフ・ヴォドホツキー

レッド・ツェッペリン：ピカミング

メンバーとともに当時は再体感する没入型映画オデッセイ！

60年代末、デビューアルバムで世界を熱狂の渦に巻き込んだレッド・ツェッペリンの出発点には一体何があったのか。未公開のジョン・ボーナムの生前音声や、初期のライブシーンなどの貴重なアーカイブ映像、メンバーの家族についてなど、知られざる歴史を語るのはオリジナルメンバーのみ。今、新たな伝説が誕生する！

[2025/イギリス・アメリカ/2h2m] 監督・脚本：バーナード・マクマホン
出演：ジミー・ペイジ、ジョン・ポール・ジョーンズ、ジョン・ボーナム、ロバート・プラント

もう一度、兄と一緒に星空を眺めたい

73歳のガンこな老人アルヴィン・ストレイトは、10年間仲違いしていた兄の病を知り、周囲の反対を押し切って時速8キロのトラクターで560km離れた兄のもとへ向かう。変ずること、許すことをシンプルに描いた実話に基づく物語と、ゆっくりと進んでゆく広大な風景が、美しい4Kリマスターでスクリーンに蘇る。

[1999/アメリカ/1h51m] 監督：デヴィッド・リンチ
出演：リチャード・ファーンズワース、シンシー・スベイセク

